

食品安全安心・環境貢献賞特集：食品 安全安心・環境貢献賞＝イズミ（前半）



●被災地の日常取り戻す 総合的な被災地支援

日本は1995年の阪神淡路大震災に始まり、新潟県中越沖地震（07年）、東日本大震災（11年）など約20年間に大きな災害に見舞われているが、食品業界は物資の支援などを続けてきた。広島市に本部を置くイズミは九州にも店舗展開していて、16年4月の熊本地震の際には物資の支援に加えて、震災の影響で営業できなくなった大型スーパーを可能な限り早く開店させ、被災地の日常をいち早く取り戻す責任を果たした。災害時におけるBCP（事業継続計画）を策定し、それに沿って組織全体が迅速に対応できた結果だ。

●熊本地震への対応、グループ全体で取り組み

イズミグループは、熊本に33店舗を展開していて、地震でそのうち24店舗が閉店を余儀なくされた。イズミでは、前震の翌日から広島のイズミ本社に災害対策本部を設け、グループ全体で、復旧・復興支援に当たってきた。

復旧・復興支援には、支援金提供、支援物資の提供、熊本産品応援セールなども含まれ、店頭で集めた一般からの募金のほかに、自らも支援金10億円の贈呈を初め多大な貢献をした。

こうした多くの小売業も行っている支援活動のほかに、一刻も早い店舗での「営業再開」「店舗が再開できない場合でも臨時店頭販売や駐車場への仮設トイレ設置の実施」などあらゆる手段を通して、「消費者と地域の日常生活を取り戻す」ことに大きく貢献した。

店舗の再開に向けて被害を受けた店舗の被雇用者の継続雇用を保証し、本体だけでなくグループ会社の店舗担当者が営業再開に向けて動いた。営業できなかった店舗のほとんどが4月中旬に再開、大型ショッピングモールの2店も今年4月までに全館の営業を再開した。

大手小売業は大規模な災害があったときに物資の支援などを行っていたが、イズミではBCP計画を策定、実践している。また市町村なども協定を結んで物資の調達に協力している。特に店舗については、経済産業賞が早急な営業再開を求めている。

●地域住民から感謝

14日の前震、16日の本震で、商品の落下や床のひび割れなどが多数の店舗で発生。イズミの方針は、「安全が確保できた店から、一刻も早く営業を再開する」で、本社の熊本地震対策本部と現地スタッフが連携し、迅速な対応を進めた。本震から一夜明けた17日にオープンした「ゆめタウン大江」では、開店を待ちわびた800人が行列に並んだ。パン、おむつ、ごみ袋などの必要な品々を手にして、ホッとする姿があったという。

「売ってくれてありがとう」の消費者の一言に胸を熱くした従業員もいた。「買い物をしている間は地震を忘れられる」という声もあり、非常時には「店が開いている」こと自体がお客さまの安堵（あんど）につながると思われた。ある程度まで復旧してくると、住人は娯楽も求めるようになってくる。「ゆめタウン光の森」では映画館なども併設しているが、店舗の迅速な再開で、映画館にも行列ができたという。

●BCPの見直しも 九州にも本部
イズミは事業継続計画（BCP）を見直し、具体的な役割分担や行動内容を策定した。広島市の本社と同時に被災するリスクが少ない九州地方を軸に、本社の代替機能を果たす店舗を選定した。本社が被災した際に、被災店舗の復旧にめどを付け被災地域以外で営業中の店

舗を継続する司令塔の位置付けだ。BCPの見直しでは、店舗の災害リスクも過去にさかのぼり洗い出す。

熊本地震では九州にある物流センターの機能が維持でき、コンピューターの基幹システムも正常に稼働した。本社の被災もなかった。この3条件が重なったことで、本社から被災店舗の情報収集や復旧作業の指示などをし、九州本部（福岡県久留米市）を通じて店舗の営業再開に動くことができている。この教訓をもとに、広島市での自然災害で本社機能が失われたことを想定し、本社の代替機能を果たす店舗をあらかじめ決めておき、有事の際に即時対応できるように備えている。基幹システムのバックアップ体制も整える検討を始めた。

●災害時の物資輸送 食品産業とも連携

イズミグループは災害時に緊急物資を搬送し、さらに食品以外の商品も含めて大型店を迅速に営業再開したが、今年になって取引先の食品産業とも物資輸送支援に関する協定を新たに結ぶなど災害への対応を充実させてきた。

イズミグループは17年8月1日に大規模災害発生時に取引先14社と大規模災害発生時における物資輸送支援の相互要請を定めた協定を結んだ。大規模災害が発生した場合には、被災地の店舗にもいち早く商品を提供する必要があるが、イズミグループが常時確保している車両だけでは輸送に限界があることも経験。災害発生時にはイズミと取引先が相互に支援要請し、物資を西日本の被災地域に優先的に供給することを目的としている。

協定の内容は店舗展開地域や取引先の中国地方、四国地方、九州地方の営業地域で大規模災害が発生した場合、4t以上のトラック1台と運転手1人の派遣を相互に要請できるようにする。支援協力に要した人件費、燃料費などは依頼者側の負担になる。

イズミグループは中国地方に加えて、熊本、大分、長崎などの九州地方、香川、徳島など四国地方など189店舗を展開し、今回協定を結んだ取引先は国分西日本、日本アクセス、山星屋、熊本パルライス、日本酒類販売など卸売業を中心に業界団体などが加わっている。

（日本食糧新聞社 <http://news.nissyoku.co.jp/> より）



書籍『非常食』

日本食糧新聞社から好評発売中！

●A5判・116頁

●定価：本体1,620円（税込）

書籍『非常食』【PDFバージョン】

http://www.center-net.jp/sale_detail/36
で発売中！

●容量：約65MB

●定価：360円（税込）

非常食検索サイトはこちら

<http://center-net.jp/hijyoushoku>

・各社の通販サイトへリンク・注文できます



書籍、e-bookの販売サイトが出来ました！どうぞご利用ください。

<http://www.center-net.jp/sales>

みんなの twitter 広場

昨日の出来事その1

昨日は防災訓練でした

訓練が終わった後に備蓄品の点検
賞味期限が短い非常食を皆で分けて
カンパンは随分前に1度食べたきり
今は金平糖が入っているんですね？

@miyan_05 さんより

18:52 - 2017年11月19日

今から運転、皆様のTweetは、後ほどゆっくり拝見致します。私自身も阪神淡路大震災の被災者です。東京で東日本大震災も経験しました。復興への長い道程は身にしみています。一歩ずつ、一歩ずつ。

@rebecca_lucky5 さんより

5:17 - 2017年11月20日

災害後に過食になりどんどん食べる女性もいた。しかし、非常食や支援物資としてくるコンビニ弁当のようなものの連続から、いっしょに食べることができなくなった人も。普段から食べ慣れたものでないといふ食べられなくなったそう。普段から少しお菓子や水分を持って小腹に入れるくせをつけておくのも防災。

@bosai_girl さんより

23:09 - 2017年11月17日

今非常持ち出し袋にベビーフードを入れておきなさい、と支援センターの保育士さん。災害時、最悪お湯は手に入るけど、食材は手に入らないからって。そしてそれを普段の離乳食にも使っていけば、手間も減るし、慣れることもできていざという時に助かるって。

@poyo_201704 さんより

21:50 - 2017年11月19日

POSデータ★ランキング

2017年11月6日～11月12日のベスト20

農産加工品

No	メーカー	商品名
1	さとの雪食品	さとの雪 おからパウダー 80g
2	丸成商事	丸成 有機天津甘栗楽笑栗 120g×2
3	こだま食品	こだま食品 日本の干し野菜切干大根 20g
4	テクロスサーバント	玉ねぎの皮 110g
5	ユーフーズ	ユーフーズ 白ネギスライス 50g
6	お好みフーズ	オタフク 専門店の味 山芋パウダー 8.5g×2
7	マルコメ	マルコメ タイズラボ 大豆粉 200g
8	日本製粉	ニッポン ローストアマニ粉末 35g
9	アスナ	アスナ 細ネギカット 20g
10	エコライフコーポレーション	エコライフコーポレーション 国内産むき栗 80g
11	味源	味源 えごまパウダー 130g
12	ブランケナーゼ	ブランケナーゼ 山芋パウダー お好み焼用 8.5g×2
13	イオン	トップバリュ 国産大豆おからパウダー
14	みすずコーポレーション	みすず 粉とうふ 100g
15	八社会	八社会 富山県となみ野産 大豆水煮 120g
16	川光物産	玉三 しょうがの粉 30g
17	源清田商事	源清田 中国産山菜ミックス小袋 100G
18	下仁田納豆	下仁田納豆 タレからし付しもにた 80g×3
19	三井食品	三井 有機チアシード 120g
20	三和食品	三和食品 とん汁の具 270g

出典：(株)KSP-POS「KSP-POSワイド」
KSP-POSデータは全国約150社の食品スーパー・約990店舗のPOS販売実績データです。

長期保存のきく食品の
売上げランキングです。
普段から多めに備えて
おくと安心！！

地球温暖化による災害



もっと知りたい！【新製品】

オール <栗あずき>



- ◆会社名=(株)東ハト
 - ◆価格=174円(OP, 税別)
 - ◆発売日=2017年11月20日
- 「オールレーズン」シリーズ新アイテム。
香ばしい栗とほっくりと煮込んだアズキを、素材を引き立てるほのかなパナコ風味の生地に挟んで焼きあげた。
栗とアズキの調和した味わいを楽しめる、大人のおやつタイムによく合うしっとりクッキー。

食@新製品 (http://foodsnews.com/)

日清のどん兵衛 <ラー油 香る鴨だしねぎ太そば>



- ◆会社名=日清食品(株)
 - ◆価格=180円(参考小売価格, 税別)
 - ◆発売日=2017年11月20日
- 同シリーズのCMに“どんぎつね”として出演中の吉岡里帆さんメニュー。
麺は、同シリーズならではの、すずり心地のよいまっすぐな太そば。つゆは、ラー油の香りを感じる、カモの脂のうまみが利いた甘辛つゆ。
具材は、かきたま、蒸し鶏、花形かまぼこ、下仁田系ネギ、カモつくね、揚げ玉。

食@新製品 (http://foodsnews.com/)

ウィングラム <エナジックウォーター>



- ◆会社名=(株)ブルボン
 - ◆価格=200円(NPP, 税別)
 - ◆発売日=2017年11月21日
- 持久系運動のパフォーマンスをサポートする栄養プログラムドリンク。
運動中でも飲みやすいように甘さを控え、人の体液に近い浸透圧で、エネルギー産生サポート成分(L-カルニチン)とミネラル(Na、Ca、K、Mg)を配合。運動前から定期的な水分補給を行うウォーターローディングに好適。

食@新製品 (http://foodsnews.com/)

非常食検索サイト掲載！【商品紹介】

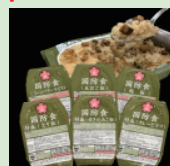
ファミリーセット (野菜)



- ◆会社名=(株)セイエントプライズ
 - ◆価格=37,584円(税込)
- クラッカー 3缶、野菜シチュー 3缶の計6缶入りです。標準食数：約60食相当(4人家族5日間)、総重量：約6.7kg(箱を含む)、箱の大きさ：48.7cm×32.4cm×19.9cm

非常食サイト (http://hijoushoku.jp/)

国防食 食比べ6パック セット



- ◆会社名=永岡商事(株)
 - ◆価格=2,592円(税込)
- 自衛隊員が訓練で実際に使用している特盛のパックご飯です。
国防食6種類が各1パック入った、食比べにおすすめのセットです。
自衛隊の厳しい規格をクリアした保存性に優れた商品なので、非常食としてもおすすめ！保存料・pH調整剤不使用でお子様にも安心です。

非常食サイト (http://hijoushoku.jp/)

クエン酸Cコンク



- ◆会社名=永岡商事(株)
 - ◆価格=2,700円(税込)
- 粉末、または顆粒と違い水ですぐ混ざりますので、とにかく手軽にクエン酸とビタミンCが補給できます。スポーツの練習、大会等の大量での希釈にも便利です。

非常食サイト (http://hijoushoku.jp/)